

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和4年10月12日（水）午後1時 議会第1会議室

出席委員（8名）

（委員長）西 野 太 一 （副委員長）伊 藤 ひろえ
岩 崎 康 朗 門 脇 一 男 錦 織 陽 子 森 田 悟 史
矢田貝 香 織 吉 岡 古 都

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 長谷川議事調査担当係長

傍 聴 者

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- 1 市議会だよりの表紙について
- 2 意見のとりまとめについて
- 3 その他

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○西野委員長 皆様、おはようございます。

広報広聴委員会、第2回目ですかね。本日は市議会だよりの表紙についてと、意見の取りまとめについてやっていきたいと思います。

この資料1、市議会だよりについて、こちらは。

○長谷川議事調査担当係長 では、説明させていただきます。市議会だより第71号、次号ですけれども、令和4年12月1日発行予定のものなんですけども、こちらの表紙の選定ということで、応募作品、8作品、上げさせていただいております。

資料1を御覧ください。今回、新規応募作品がございまして、全て過去の応募作品という形になっております。ちなみに、1番が令和4年の7月号選定時に上げさせてもらったもの、2から6が令和4年の3月号選定時に上げさせてもらったもの、7、8が令和3年の6月号の選定時に上げさせてもらったものとなっております。ちなみに、今後の表紙写真募集については、ホームページで掲載して募集をしているところでございます。以上になります。

○西野委員長 本件で何か意見がある方はおられますか。

岩崎委員。

○岩崎委員 まずは12月発行なので、冬ですよ、もうね。春っていうわけにはならんだろうなと思いますし、何かやたら朝日が多いなという気もしてるんですけど、それらを考えながら、ちょっと皆さんで絞ったらどうだろうという意見を申し述べます。

○西野委員長 ほかにございせんか。なければ。

- 錦織委員** すみません。
- 西野委員長** 錦織委員。
- 錦織委員** ちょっと私あまり理解してないんですけど、これ、この1から8までをこの中から選ばないといけないってことですか、どうでも。
- 西野委員長** どうなんですか。
- 錦織委員** どうでも。なるべく早く選んでほしいということ。
- 西野委員長** 確かに、急にこれね、今日これ配られて。
- 岩崎委員** 過去、それに縛られずに別作品を出して、もう一回再検討みたいなこともあったように思うんです。ねえ、ありましたですね。
- 伊藤委員** はい。
- 松下事務局長** 委員長、よろしいですか。
- 西野委員長** はい。
- 松下事務局長** 今回、長谷川の説明でもありましたけれども、新規の応募がなかったってことで、一応過去の新しいところからピックアップして、参考として、本日御提示させていただいてますけれども、必ずこの中から選ばないといけないってことではございません。もっと古いものとかでも、あるのはありますので、この中でこれというものがなければ、少し遡ってまた御提示するっていうことは可能でございます。以上です。
- 西野委員長** 錦織委員。
- 錦織委員** 何かあんまり遡るとね、撮影した人もね、今頃って感じがするので、一応あれは2番かなと思いますけど、まあ雪も12月だったらね、何かなって思うけど、12月だったらもう降ってる。
- 岩崎委員** 初冠雪はある。
- 錦織委員** 初冠雪はあるかもしれんけど、それしてはちょっと雪の量が多いなみたいな気もするけど。一番あれだったら、この頃の季節のものがないよね、ほかにね。2番でいいと思いますが。
- 西野委員長** 吉岡委員。
- 吉岡委員** 広報広聴委員会の意見のところ、表紙についてっていう意見が何個か上がってるんですけども、これはもう現行のままで、このままいくってっていうことで検討するんですか。
- 西野委員長** 事務局のほうは。  
伊藤委員。
- 伊藤委員** 私も表紙については意見を言っておりますが、多分今から、何ていうんですかね、前のものもセレクトするのは可能だけれども、でも、これから、何か一から始めるってようなことは間に合わないんじゃないかなと、期間的に、思ったりもするので、そうではなくて、こういう写真をこの期日までに撮るってようなことがここで決まれば、それは可能なんじゃないかなとは思ったりもします。
- 西野委員長** 事務局としては。
- 松下事務局長** 今回のデッドライン。
- 森井議事調査担当局長補佐** 今月末。
- 錦織委員** いつまでないといけないかという。

- 長谷川議事調査担当係長 今月末ですね。
- 錦織委員 今月末っていうと、ちょっとえらいかな。2週間ぐらいですね。
- 門脇委員 いいですか。
- 西野委員長 門脇委員。
- 門脇委員 昔の分を引っ張り出してきてって、さっきあったんですけど、これから撮るはなかなか季節感がね、前の分から練ってこないと、これから10月末にかけて、じゃあ、12月号に合う写真が撮れるかっていうと、季節感のある分はなかなか難しいと思いますので、何とか、先ほど岩崎委員も言われましたけど、やたら太陽も多いし大山も多いしということなので、難しいかもしれませんが、基本この中から。
- 伊藤委員 この中からですか。
- 門脇委員 この中から、取りあえず。取りあえず皆さんで議論出し合って、それでちょっと駄目なら、またちょっと前に遡られてもいいんじゃないかと思ってます。
- 伊藤委員 ちょっと……。
- 門脇委員 ごめんなさい、僕の意見としては、なるべく大山でも、米子から撮られた写真がいいと思うんですよ。例えば、ちょっと分かりにくいですけど、僕もこの、例えば1番の、これ分からないですけど、先に風車があると、このところは米子じゃないですよ。
- 岩崎委員 そうですよ。(笑声)
- 門脇委員 風車はないので、米子には。
- 西野委員長 何だろうか。
- 門脇委員 だから、この手前のこの海は、もしかしたら米子になるのかも分からないけど。
- 岩崎委員 これね。
- 門脇委員 どこですか。
- 岩崎委員 王子製紙のね、排水が流れてる日野川河口のところの、こういうのがあるんですよ。
- 門脇委員 ありますか。
- 岩崎委員 ここに流れていくんですけど。
- 門脇委員 ここ米子ですか。
- 岩崎委員 だけど、望遠の作用なのか、もう向こう側のあっちの大山、名和のほうの岸がぼやっと見えちゃってますね。
- 門脇委員 風車がある。
- 岩崎委員 これ多分、いろんな望遠か何かの都合だと思うんですけど、この分は明らかにそうなんですよ、日野川河口。
- 門脇委員 なんですか。
- 岩崎委員 うん。
- 門脇委員 なるほど。
- 岩崎委員 すごい太陽ですね、でもね、朝日ですね。
- 門脇委員 分かりづらいですよ。だから、僕ら感覚として風車が見えとるけん、あれ、どこで写してるんだろうと思ったりするんですよ。

- 錦織委員** ちょっと菜の花とかね、桜とかもあんまりでしょうね。
- 岩崎委員** これは菜の花と桜はないですよ、もう季節感が。
- 西野委員長** 伊藤委員。
- 伊藤委員** じゃあ、一つは、この中っていっても、なかなか何か本当季節感が違ってたり、ぴんとこないかなと私は思っていて、なので、もうちょっと遡っていただいて、今まで使ってない写真を一回見せていただいていたなと思ったりもします。データでもいいので。
- 松下事務局長** データは出せる。
- 門脇委員** 結構出せますか、時間かかる。
- 長谷川議事調査担当係長** データが残ってれば10分ぐらい。
- 伊藤委員** データが残ってますか。
- 松下事務局長** つづいてないの今までの広報広聴委員会の冊子を。
- 長谷川議事調査担当係長** 過去の冊子を。
- 松下事務局長** ちょっと探して。
- 長谷川議事調査担当係長** はい。
- 錦織委員** だから、その冊子の下にね、誰が撮ったのかとか、いつ、どこから撮影とかいうの、全然そういう情報は出さない、大体今までの分って。
- 伊藤委員** 名前は出さないんですけども。
- 岩崎委員** 名前は出してましたよね。
- 伊藤委員** でも、表題だとか、そういうのは。
- 岩崎委員** 名前は出してなかったでしたっけ。
- 門脇委員** 名前は。
- 岩崎委員** あっ、表題か。
- 伊藤委員** うん。
- 錦織委員** そしたら残雪の頃なんていったっていけんよね、12月じゃない。「夕暮れの米子大橋」とかいったようなものもありますし。
- 松下事務局長** 委員長、よろしいですか。
- 西野委員長** はい。
- 松下事務局長** 検討していただく中では、タイトルと撮影日、作成年月等ということで、こういった形で。最終的に、表紙になるときにはお名前を載せるっていうデータになります。
- 西野委員長** 錦織委員。
- 錦織委員** 最終的にはっていうのは、あれ、表紙になるときには名前が、誰それさんなんですよっていうのだけか出る。
- 松下事務局長** そうですね。
- 錦織委員** いつ撮影とかじゃなくて。
- 松下事務局長** そうですね。表紙写真のタイトルと、作品提供は誰々さんっていうことで。撮影年月日は出ないです。
- 錦織委員** そうですか。でも、これ撮った人もね、えっていう感じよね、あんまり古いと。うれしいかもしれんけど。

○岩崎委員 ちょっといいですか。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 意見言わせてください。今回応募がなかったということもありますので、今、話題性を考えると、例えば最強の城、米子城、10月には、またダイヤモンド大山というのを、ちょうどまた、もう間もなくかな、見える。

○西野委員長 22、23。

○岩崎委員 ですよ。見えるはずになってますが、恐らく秘書広報課のほうに写真があるので、ダイヤモンド大山の、米子城から撮った写真が。今回それ使わせてもらおうとかいうのは駄目かしらと思うんですけど。時期的にはいいかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 今回応募がなかったの、いいと思います、いいアイデアだと思います。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 応募がないことを想定したときの決め方っていうのもあったんじゃないかと思うんですけども。

○伊藤委員 前のやつ。

○門脇委員 いや、前のやつを出すっていう。

○矢田貝委員 そうそう、そこで、ないから、市が撮りましたというところをやるんだしたら、せめて我々が撮ったものを使うとか。なので、今回については、やはりこの中から選んでいって、今後ないことも想定したときには、こうなんだとか、この写真の中から選ぶのが広報広聴委員会の仕事では、今まではあったはず。

○岩崎委員 では、いっそ撮りに行きますか、二十何日に。

○矢田貝委員 私も久しぶりですけども。そこら辺の表紙についての考え方が、これからの議論の中に上がるのであれば、今回については、私もよっぽど言おうかと思ったんです、ティラノサウルスの件とか、いろいろとこれから出したいものっていうのはあると思うんですけども、であれば、私たちが撮ったものを、ここに。

○岩崎委員 広報委員が。

○矢田貝委員 広報委員が、今それぞれお持ちでしたら出してみるとか、そういったことはありだと思うんですけど、どうなんでしょうっていう気持ちはしない。

○松下事務局長 委員長。

○西野委員長 事務局。

○松下事務局長 ちょっと補足で説明させていただきますね。矢田貝委員さんおっしゃるとおりでして、広報よなご今日お持ちですかね。

○矢田貝委員 はい。

○松下事務局長 一番裏に、裏表紙に「表紙写真・イラスト募集中！」のところの中に、選定方法というのが記載してございます。

○伊藤委員 最近はない。

○松下事務局長 期日までに応募のあった作品から広報広聴委員会において選定します。応募作品がない場合や、採用作品がない場合は、本委員会で撮影した写真を使用するか、過去に御応募いただいた作品の中から選定しますよとなっております。

- 岩崎委員** ほお、おもしろい。そういうのがあるんですね。
- 松下事務局長** 矢田貝委員さん言われたとおりだと思います。
- 岩崎委員** いいんじゃないですか、委員から持ち出すみたいなの。
- 矢田貝委員** というのはありだと思います。
- 岩崎委員** それか、撮りに行くか。朝日を。ダイヤモンド大山を。
- 西野委員長** 吉岡委員。
- 吉岡委員** だったらいっそのこと、私たちの写真で、広報広聴委員会メンバー、これ、名前しかここにはない。
- 錦織委員** そんな恥ずかしい。(笑声)
- 吉岡委員** いや、名前しかないなと思って。
- 門脇委員** それをするんだったら、裏表紙か何かに委員で座ってて。
- 吉岡委員** 嫌だ。
- 錦織委員** まあ、その分その程度だよ。何であなたたちだけ宣伝するのって言われるよね。言われかねない。
- 門脇委員** ただ、ちょっと、みんな話合いの中で、これでなかったら、今月中にも、いっばいに決めれば大丈夫っていうことなら、持ち寄って来るのもいいですし、だから、決まりの中で、過去の分をね、何か選ぶのも。
- 西野委員長** 次の2番の意見の取りまとめについて、表紙について発言されてる方もおられるんで、それを、その意見も聞いてからでもいいんじゃないかと思うんですけど、やっぱり、それタイト過ぎて。
- 松下事務局長** ちょっとよろしいですか、すみません、すみません。月末までに原稿を決めていただきたいということですがけれども、例えばここにあるもの以外で、各委員さんが出されたものを、改めて委員会で協議していただく、1回寄っていただくか、持ち回りで決定していただくか、正副委員長に一任するか、そういった作業を経て、最終的に委員会として決定すると、それが10月末までをお願いしたいということで、日程的にはもう少し時間がありますので、そこら辺りも御協議いただければと思いますので、よろしくお願いします。
- 西野委員長** そうですね、意見書で、表紙について要望を上げてる委員の方々がおられるので、その意見を聞いてから、また。
- 伊藤委員** 今、局長が言いなつた、それを取りあえず今度の広報委員会開くとか、副委員長、委員長に一任なのか、そこはちょっと決めといたほうがいいのかもしれん。
- 松下事務局長** もしも、各委員さんが撮られたりとか、お持ちの分を改めて候補にするということであれば、まあもう一回寄っていただくのがいいのかなというふうには思いますが。
- 伊藤委員** でも面倒ですよ、だから例えば。
- 西野委員長** どうしよう、もう一回。
- 伊藤委員** 二十何日。
- 西野委員長** 二十何日に委員会を開くか、それか、御提案があれば、我々委員長、副委員長に撮ってもらって。
- 矢田貝委員** ダイヤモンド大山は、市報もそれを狙ってるでしょうね、なので被っちゃ

うかも。

○**門脇委員** ましてや僕らの技術ではうまくなかなか撮れないかも。本当にいいカメラで何かそうやって。

○**西野委員長** もう、初回はこれでいいですか。初回。

○**門脇委員** 初回じゃないです。委員長は初回か。

○**西野委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** じゃあ、期日を限って皆さん撮られたりとか、また、前の応募作品をもうちょっと出していただいて、もう一回、案を事前に皆さんにお伝えしながら、もう一回、委員会を開くっていいかでしょうか。

○**岩崎委員** いいんですけど、いいですか。

○**西野委員長** 岩崎委員。

○**岩崎委員** 多分今月いっぱいでしょう。今月って結構、各会派とか、視察を入れてるんですよね、既にね。だから、なかなか日程が取れるかどうかってということもあるので、一つの案として、皆さんから何日までに募集しますと、各委員から。それと、あとは、もう過去の分も含めて、もう一回ちょっと見てもらって、委員長、副委員長である程度選抜してもらって、それを持ち回りか何かで、ばあっと、こうね、メールのやり取りでもいいし、そういうことでやればいいんじゃないでしょうかね。

○**西野委員長** そうですね、もう集まるのはちょっと10月中は今日で最後ということ。

○**岩崎委員** 多分いろいろ予定が入るとるんじゃないかなと思うんですよね。

○**錦織委員** 今おっしゃったティラノサウルス、あれ面白いよね。

○**矢田貝委員** 面白かったです。

○**錦織委員** あれ、ああいうのを皆生で撮った人はいないかなと思って。

○**岩崎委員** ああ、あれはフェイスブックにはもう出てますからね。多分、でも、画像がどうなんだろう。

○**西野委員長** 僕の知り合いが出てるんで、いっぱい写真があると思います。

○**門脇委員** あれはね、写真より動画で見るもんだ。動画だと面白さがじかに伝わってくる。

○**西野委員長** じゃあ、岩崎委員の提案で、取りあえず10月中集まるのはちょっと難しいということ。

○**岩崎委員** ちょっとある程度選抜してもらって、委員長、副委員長に。

○**西野委員長** その期限はいつまでにしましょうか、写真を送ったりというのを。

○**岩崎委員** 自分の持つてる分の、これをぜひっていうのを、また事務局に提出みたいな。

○**長谷川議事調査担当係長** ちょっとよろしいですか。

○**西野委員長** はい。

○**長谷川議事調査担当係長** 一応、デッドラインは今月末というふうにお話をしたんですけども、その後、ちょっと準備の時間とかも必要ですので、10月27が金曜日でしたかね。

○**西野委員長** 木曜です。

○**松下事務局長** 28が金曜日。

○**長谷川議事調査担当係長** その週の真ん中より前ぐらいには欲しいかなとは思ってお

ります。

- 西野委員長 25。
- 伊藤委員 25日ぐらい。
- 西野委員長 原発委員会。
- 門脇委員 もう写真ちょっと、1週間ぐらいまでにはせんと。
- 岩崎委員 適当に5つなり10なり絞ってもらって、見せてもらったら、各委員がメールで見て、チェックして行って、優先順位つけていけばいいんじゃないですか。
- 西野委員長 じゃあ、10月25日火曜日締切りでよろしいでしょうか。
- 岩崎委員 はい。
- 伊藤委員 はい。
- 門脇委員 25日。
- 西野委員長 25日。
- 門脇委員 大丈夫、そこから。
- 伊藤委員 大丈夫、大丈夫。
- 門脇委員 いや、違う違う違う、締切りでしょう、そこから選ばないけんよ、回して。
- 錦織委員 回してっていうか、選んで、メールでやってもらったら。
- 伊藤委員 選別して、それからメールで。
- 門脇委員 だけん、その中から選ぶわけでしょ、だけん、ここで、例えば、大丈夫は大丈夫か。
- 錦織委員 多分2つぐらいで。
- 門脇委員 2つぐらい。そうですか。
- 岩崎委員 多分1位、2位、3位って各委員が優先順位をつけますんで、それで集約してもらおうということですね、作業としては。
- 西野委員長 じゃあ、25日。
- 伊藤委員 はい。
- 岩崎委員 はい。
- 西野委員長 25日締切りで間に合いますか、大丈夫ですか。
- 長谷川議事調査担当係長 うちにこれだよっていうのが25日までに出てくればいいですけれども。
- 西野委員長 じゃあ、もっと前だな。
- 森井議事調査担当局長補佐 みんなが出すのが25日だよと。
- 伊藤委員 データか写真か、それを事務局に25日までに出してもらったら。
- 西野委員長 取りまとめですよ、取りまとめたやつを事務局に。
- 錦織委員 出すのが25日。
- 西野委員長 これだっていうのを。
- 伊藤委員 じゃあ、もうちょっと前に集めないといけない。
- 西野委員長 ですね。じゃあ、前の週の21、21。
- 森井議事調査担当局長補佐 21日は金曜日。
- 西野委員長 金曜日ですね。
- 森井議事調査担当局長補佐 ですね。



- 伊藤委員 だって、今月末に決めればいいわけでしょう。
- 門脇委員 違う違う。少なくとも28、27には。
- 長谷川議事調査担当係長 25には、これだよっていうのを出してもらわないと。
- 伊藤委員 決定する、決定する。
- 森井議事調査担当局長補佐 25にはもう原稿を出さないといけないと思いますんで、印刷会社に。
- 伊藤委員 はあ、そうなんだ。じゃあ、もうちょっと早く。
- 西野委員長 時間がないです。
- 伊藤委員 20日。
- 西野委員長 17の週で。21にいただいても、24に提出ということで。21に締切りで。
- 伊藤委員 21。
- 門脇委員 分かりました。
- 西野委員長 お願いします。
- 伊藤委員 お願いします。
- 矢田貝委員 事務局ですか。
- 西野委員長 事務局、はい。
- では、表紙の件は以上でよろしいでしょうか。
- 門脇委員 ちょっと事務局、一つ。このね、ずっと今出てる広報の中で、なかなかこれってないんですけど、例えば2番、すごい青空があるんで、これって半分に切っても、画像って落ちないの。どれぐらいの明るさというか。
- 伊藤委員 画像はいい。プリンターが悪い。
- 門脇委員 元のデータ。
- 松下事務局長 委員長、よろしいですか。
- 西野委員長 はい。
- 松下事務局長 これを加工するっていうのはどうかなっていうふうに思うんですよ。これをこれとして出していただけてますんで、提供者はここを含めて。だから、こちらが勝手にトリミングしたりとか。
- 門脇委員 はできない。
- 松下事務局長 編集かけたりっていうのは。
- 伊藤委員 作品だけん。
- 松下事務局長 どうかなっていうふうに思います。
- 門脇委員 分かりました。
- 矢田貝委員 空は切れるとは思いますがね。
- 伊藤委員 でも空も含めてなので。
- 森井議事調査担当局長補佐 これ何かグラデーションみたいになってるみたいで、上から濃い色が薄くなっていく、それを何か表しているというか。
- 錦織委員 それが意味がある。
- 門脇委員 ああ、そうなってるわけですね。
- 錦織委員 だけん、そういう意図が。

○長谷川議事調査担当係長 ちょっとカラーコピーだと途切れ途切れみたいな感じになりますけども、きれいなグラデーションになっています。

○門脇委員 ああ。そうやって出とるんだな。

○矢田貝委員 きれいだ、きれいだ。

○錦織委員 だけん、それがいいなと思う人じゃないとね、分からん、何か長いなと思って。

○門脇委員 例えば表紙全体をそれにしてね、青空のところ、これ字を、よなご市議だよりとかって入れてもいいわけですか。

○松下事務局長 よろしいですか。またこれも、議会だよりの一番裏表紙で見ていただきたいんですけど採用された写真、イラストは必要に応じてトリミング処理等のサイズの調整を行うことがありますというふうに断りをしてますが、その調整の具合が、これはちょっと私なりの判断ですけど、端のほうを少しカットするとかいうことはある。ここにきちんと収まらないというか、表紙にしたときに、どうしても調整が必要だという場合でお断りしてあるんじゃないかなというふうに思って、例えばこれを半分にしちゃった、ちょっとそれは違うのかなと。

○門脇委員 今言ったのはそのままです。

○伊藤委員 文字をかぶせる。文字をね。

○門脇委員 かぶせれるかっていう意味だったんですよ。表紙全体にその写真をがばつと載せて。

○錦織委員 でも、それするとまた、何か写真載せんといけんもんね。米子のあれだけじゃなくって、下も載せるわけでしょう。

○岩崎委員 広報よなごは最近それをしてますね。

○伊藤委員 いや、やったことあるんじゃないかなと思ったりもします。だって、横の写真でしか使えないもんね、だってそうなる。随分前ですけど。

○西野委員長 確かに広報よなごとかぶってしまうっていうのがね。

○岩崎委員 広報よなごは上手に写真撮って、人の動きとかをちゃんと見せたり、すごく上手ですね。

○松下事務局長 これ、ここに字とかかぶせられる。

○森井議事調査担当局長補佐 ないと思います。

○門脇委員 ない。

○伊藤委員 やったことあると思いますよ。

○松下事務局長 すみません、ちょっと即答はできないので。

○門脇委員 分かりました。じゃあ、取りあえず。

○松下事務局長 印刷業者さんにもちょっと確認する必要があると思います。

○西野委員長 ほかによろしいでしょうか。

では、この表紙については時間もないので、今回はそういう感じでいきたいと思います。

今後表紙とかについて、これから意見の取りまとめでについてですが、私ごとですけど、私が委員長という仕事をちょっと理解していなくて、意見書を出してしまいました。これ、私の意見は気にしないでください。今日は発言しません。辞退いたしますので、申し訳ないです。

○**錦織委員** いや、面白いかなと思ったよ。(笑声)

○**西野委員長** 面白いとか思ったら付け足して発言してください。私は発言しませんので。申し訳ございません。では、順番に行きましょう。伊藤委員のほうからお願いします。

○**伊藤委員** 全部言いますか、表紙だけじゃなくて、全部。

○**西野委員長** 全部、はい。

○**伊藤委員** 分かりました。ありがとうございます。

私は、ほかの議会のいろいろ見ていると、会派っていうところで会派要望だとか、そういう会派の動き、推進分野、活動等載せているところがありましたので、議会でも案内してはどうかと、一つ思いました。会派は議会の中にいる人はよく分かるんですけど、市民のほうからはなかなか見えない。だけれども、会派何々の何々ですというふうな議会での発言が幾つもあるので、会派というところをホームページで表すといいかなと思いました。

次に、小学生、中学生が議会について学ぶ場合は現地で議場を視察というようなところなんですけど、いつも、いつの間にか議会事務局さんが案内をしているんですけども、やっぱり議長やら議員と話す機会をつくってはどうか、これは主権者教育の観点からなんですけれども、または子ども議会の際に議場を使うというようなことも考えてもいいのかなと、主権者教育の観点からです。

次に、議員、会派、委員会等が団体から意見を聴取する場面をつくる。それを広報広聴委員会がサポートする。以前、前回の広報広聴委員会のために、岩崎委員が、委員会と団体がお話をする、意見を聞くっていうようなことおっしゃられたので、ああ、なるほどなと思いました。会津若松市市議会が、皆さんがくださった意見をどのように政治に反映させたかというように表して、見える化をしてらっしゃるので、市民の方がよく分かりやすいというようにも聞いたことございますので、そういうふうにフィードバックするというような形も必要ではないかと思いました。

次に、議会だよりです。基本は文字が小さくならなくした上でっていうふうに書いてありますが、私たちの発言のところは、まあまあ見えやすいかなというふうに思いますけれども、この後の、議決結果の理由だとか、あと、今回は決算指摘事項だとか、そういうのがもうとてもちっちゃくなって、読めないっていう意見がすごくたくさんあるんですね。何かわざと見えないようにしてるのかなんて言われたこともあって、これじゃあちょっと厳しいだろうなと思ったりもします。なので、意見書、宣言及び決議等、掲載するというふうになって、でも、全部を掲載しなくてはいけないというようなことはないの、全文を掲載するのではなくて、端的に分かりやすくまとめて掲載するというのが必要なのではないかなと思いました。これは広報広聴委員会で作成して、議会事務局が確認をするというように、あと、全体はQRコードをつけるだとか、URLで紹介をして補完するということがいいのではないかと考えております。

次に、表紙の写真です。私も、この表紙写真、イラスト募集っていうのは提案させていただいた経緯があって、一定程度は写真を撮ったりとか絵を描いたりとかされる方が応募をされて、議会報に載ると、その知り合いの方も見ていただく機会になるかなと思ったりなんですけど、これ多分、何年かは続いていて、でも、もう何か一定程度の効果はちょっと薄れてしまったのではないかなと思ったり、あと、大山町議会の議会報はとてもアピールが

よくて、いつも表彰されているんですけども、その議員の、私たち、広報広聴委員会で行ったことがあるんですけど、そこでは、必ず顔を出す、人物を出すということが何かセオリーだとおっしゃられて、ああ、なるほどなと思った記憶がありますので、後ろ向きの写真や集合写真ではなく、動きのある写真を撮ると、取っていただけやすいかなというふうに思います。なので、表紙、写真、イラスト募集っていうのも、今回も応募がなかったというようなこともありますし、ちょっと一回休んでみてはどうかなというふうに思っています。

次は、配布、適切な配布数にする。今日もたくさん余っているのを見まして、ちょっと税金なのに心苦しいなというふうに思っています。足りないっていうのはいけないんですけど、若い方は手にとって見られても、またすぐ置かれるんですね。文字離れっていうようなこともあったり、持って帰らずに必要なとこだけ見るっていうようなこともありますので、ウェブでの紹介をちょっとどんどん多くして、スマートフォンだとか、それで見えやすいっていうようなことに集中をして、紙ベースはやっぱり適切な配布数にしてほしいなと思います。

次に、中学生の紹介コーナー、これも多分大山町議会のところで聞いたのだと思いますけれども、裏表紙だとかに中学生の夢だとか未来だとか、そういうのを掲載するコーナーがありました。それは、なかなか議会報って見てもらえないところを、中学生だとかが出ると、書くと、その学校だとか、あと保護者さんだとか、いろいろ見てくださることが多いというふうに聞きましたので、それもいいんじゃないかな。ありとあらゆることをして、議会報を見ていただきたい、そういうきっかけをつくりたいと思っています。

議案、陳情可否のページは1ページにまとめる。これは吉岡委員がこの前おっしゃっていましたが、私もスマホで確認をしたら、やっぱりばらけてしまって、ページが別々になって、とても分かりにくかったなど、賛否が分かれた議案及び陳情のところですけども、そう思いましたので、ここに書かせていただきました。

そして、6番ですけども、やっぱり私たちの発言もそうですけれども、中学生に分かるように工夫、配慮するというようなことを議会報でもやっていかなければいけないと思いました。

次に、いいですか。

**○西野委員長** はい。

**○伊藤委員** 議会報告会ですけど、自治会ブロックも、初めのきっかけとしてはすごくよかったのだと思うんですけども、やっぱり自治会ブロックにするために、回覧だとかでとても期間がかかる、1年1年広報広聴委員が替わる中で、議会報告会をするっていうのはすごく至難の業だなというふうに何回かさせていただく中で思いました。なので、やっぱり自治会ブロックではなく、学校や団体、組織等に出向く、米子市の市報がそのようにしていますけれども、そういうようなことで意見をいただきながら、特に若い方の意見を聞く場を意識的につくるっていうようなことが望まれるのかなというふうに思いました。でも、議会報告会の要綱ですかね、これは、申合せですか、要綱ですか。

**○松下事務局長** 要綱です。

**○伊藤委員** 要綱ですかね。要綱はもうそのままにしておいて、各団体等の意見聴取を行ったり、多様な意見交換の場、ワールドカフェっていうのはグループで何か自由に話をす

る、聞くってというような、鳥取市議会がやってるような方式ですけど、そういうようなことを行ったらいいのではないかなと思いました。以上です。

○西野委員長 伊藤委員、ありがとうございました。

伊藤委員の発言について、何か質問とか。

○岩崎委員 一通り発言されたらいいんじゃないですかね。

○西野委員長 そうですか。

○岩崎委員 各委員から。

○西野委員長 では、次、矢田貝委員お願いします。

○矢田貝委員 私、宿題いただいて、そのときに必死で書きまして、改めて言い直すと思ったら、そのときの頭に戻れないでいて申し訳ないんですけど。伊藤さんがおっしゃったみたいに具体的なことってというのは私もいっぱい持ち合わせているんですけども、そもそも広報広聴委員会っていうところは何なのかっていうところを考えていけないといけないというふうに思ったので、こういう書き方になりました。今、伊藤さんが、要綱は置いといても、ミーティングとか交換会とかっていうことっておっしゃったんですけど、そこが一番の議会報告会等に話を持っていったときには、私たちは一貫して報告会であるという姿勢で臨んでおりますので、要綱をつつかずにミーティング意見交換っていうところには、ちょっと乗れなくて、やるんだったら、要綱そのものを広報広聴委員会の位置づけであるとか、目的っていうところをしっかりと捉まえて、私たちが議会と市民の方のハードルを低くしていくんだっていう使命感を持ってどんどん改革をしていけるような位置づけになれば、今の広報広聴委員会の位置づけでは、それは難しいんじゃないかなろうかと考えております。

あと、さっき伊藤さんがおっしゃったことは全くそのとおりに思っております、具体的だったので私も書いておりませんが、具体的に考えていること、2つだけ言わせていただきたいと思います。

高校生、各学校に放送部とか何か、名前は分かりませんが、あると思うんですけど、そこの方々に依頼をして、議会終了ごとに、今議会は、米子市議会はこのテーマで話をして、こういうことだった番組を一つつくっていただく。その間には、ホームページとか、いろんなことも含めて、取材も要るでしょうし、期間を決めて、米子市議会の中継がこうでしたってというようなことをどこかの議会がやっておられるのを見つけまして、私はこれだというふうに思いました。一つの案として提案させていただきたいと思います。

もう1個言おうと思ったことも、今言いながら忘れましたが。すみません。表紙の写真のことです。私たちが汗かけばいいんじゃないのかなっていうふうに思っておりますので、そのことが2点目でした。写真班になればいいんじゃないかなろうかというふうに思っています。以上です。すみません。

あと、これは読んでいただいたらそのとおりで、いろいろ言いたかったことをまとめております。

○西野委員長 矢田貝委員、ありがとうございました。

続いて、岩崎委員、お願いします。

○岩崎委員 私、何かえらい長文になってますが、要は、一番上の2つのポチが一番中心です、言いたいことの。その最も言いたいことは一番上です。意見交換の場を設置して、

検討してはいかがかということです。これまでは、要はこっちから予算、決算委員会の状況はこんな感じでしたとか、もう一方的に結構議会とはこういうものですかといってずっと報告してたんですが、そこはもう1周、2周もしてるわけで、もういいんじゃないかなと。もうその役割は終えたというふうを考えながら、もっと積極的に飛び出して行って、意見をやっぱり交換できるような場、さっきいろいろ出ましたけれども、例えば常任委員会なんかで、ちゃんと各常任委員会の持つてるテーマについて。例えば私が経済持ってたから、経済の、例えば商工会議所と一緒にちょっとやり取りをいろいろ協議する場をやるのか、そういったふうに出向いて行って、市民の方の意見を、やっぱりダイレクトに吸収していくっていうようなやり方に検討したらどうだろうかということが一番最も言いたいところです。丸の条文、丸の全体についてというのは、そのテクニク的なもんなんで、条文についてはこういうふうに変更していったら可能かなっていうところでもありますので、一旦ここは割愛させてもらって、一番言いたいところはそこでした。今までの、要は報告会の在り方を、再度、もうちょっと検討して。でも、そうはいつでも、今期あんまり時間がないもんですから、どういうふうに、そこは落とすどころをつけていくか、ちょっと分かんないんですけども、そのように考えます。

それから、括弧の議会だよりについてです。まずは文字が非常に小さくて見えにくいという声も多いです。全体的には余白をちょっとつけたりしたら、もっと見やすくはなってくるだろうということと、この前も委員からも出ましたけれども、要はリンクを貼って、例えば岩崎康朗は4項目発言しましたけど、2項目、今回上げました。で、ずらずら書いてます、答弁はこんな感じですよって書いてます。じゃなくて、例えば主要の1項目だけにして、あとはこういう大項目を言いました、QRコードを貼り付けて、個人の動画、もしくは議事録みたいなものところに飛ばすみたいなことをしていけばいいかなって思いました。文字をもうちょっと大きくする。今、日本海新聞、大分大きくなりましたね。そんな感じでした。ということをご提案したいと思います。取りあえず以上でございます。

**○西野委員長** 岩崎委員、ありがとうございました。

続きまして、吉岡委員なんですけど、吉岡委員も柏市の市議会だよりについて書かれているので、そのURLがあつて、事務局の方にちょっと僕が資料を。

**○伊藤委員** ありがとうございます。

**○西野委員長** 印刷してもらったんで。

**○長谷川議事調査担当係長** 回覧してください。

**○西野委員長** ちょっと1枚しかないの、これ回しながら、吉岡委員、お願いします。

**○吉岡委員** 皆さんがかなり言ってくださったんで、そうじゃないところだけ言いたいと思います。1番は先ほど伊藤委員が言ってくださったので、改善をしていただけたらと思います。だんだん理想に近いあれになってます、最初のほうが実現可能性が高そうなのというのか、簡単に取り組みそうなのになっていると思います。2番は、何か取ったときに、まず何が書いてあるのかがぱんと分かるように、トピックス的な表題をつけて、取りあえず何か開いてみようかなって思ってもらえるような表紙。今回の広報よなごとかが、あつ、又カカかみたいになってというのが分かりやすかったなと思ったので、あんな感じをイメージをしています。何かすごく、やったことがぱんって書いてあるの面白いなと思いました。

**○西野委員長** カラーで印刷してくれと頼んだんですけど。(笑声) カラーだと全然ね、

イメージが違うんですけど。

**○吉岡委員** フリーペーパー的な、一番知ってほしいところをぱんって出すみたいな感じで。あと、多分これだったと思うんですけど、一般質問のところが横書きになってたので、何かやっぱり、こう、これもなんですけど、こう読むっていうのがすごい、もうあんまり慣れてないというか、何か大体横書きだなと思ったので、横書きのほうが取っつきやすくて、それで、さっき岩崎委員や伊藤委員が言われたように、要点だけで、あとはQRとかでやると、画面というか、誌面がすっきりするかなと思いました。

あと、議会報告会については、ちょっと矢田貝委員が要綱の改定も必要だし、位置づけも必要だっていうことで、意見聴取とか意見交換っていうのは、そういうものを経てやらないといけないんだなということが分かりました。

会場参加とネット視聴のハイブリッドにしておくっていうのは、コロナのこともあったりして、もしできなかったときにも柔軟に対処できるので、こういうやり方にするとしっかり見ていただく、参加していただく幅が広がるかなと思います。

2番の「議会とは？」という内容でなく、議会だよりの内容のようなというのは、今までは何か、議会ってこういうものですよっていうような、たしか議会報告会、レクチャー的な感じだったと思うんですけど、もう本当に議会報告会で、今議会でこんなことをしましたとか、こういうことを決めましたみたいなほうが、もしかした市民の方は来てくれるのかななんて思います。どうしてもちょっとありがちなので、ファシリテーターみたいな方を、司会の方を置いて、何か発言の調整とかはしないと、ちょっとお互いにしんどいなという印象があります。できればオンライン視聴からの質問にも答えていったりできるといいなと思い、またそれには決まりをいろいろ変えないといけないと思います。

最後は、広報広聴の広聴機能のほうなんですけど、これはかなりハードルが高いので、行く行くはということになります。先ほど伊藤委員が言われた会津若松市議会は市民の意見を議会として聞いて、それを政策決定していくというような形を取っておられて、政策討論会でそれをされてるということなので、議会報告会が発展すると、そういう形にもなってくるのかなと思います。

2番の議会主催での無作為抽出された住民による会議というのが、和歌山県の新庄村議会の、これは議会事務局さんが提案されて、議会事務局長さんが提案されて、村民を無作為で抽出して、その方に会議に来ていただいて、一番最初の議題は庁舎の分庁化というか、庁舎の更新みたいなことを議会主体で意見聴取をされました。団体とか公募とかってなると、どうしても特定の方を相手に意見を聞こうかということになるんですけど、無作為で抽出すると、今までは隠れていた人たちの意見も聞けるかなと思います。以上です。

**○西野委員長** 吉岡委員、ありがとうございました。

続きまして、錦織委員、お願いします。

**○錦織委員** 私も2か月ぐらい前の話だったので何だったかなと思いながら、自分がこんなこと言ったんだなと思いながらですけど、あのとき、何日だった、7月でしたかね、最初あったの、8月でしたっけ、第1回目が。

**○矢田貝委員** 8月。

**○門脇委員** 8月9日です。

**○錦織委員** あのときにね、やっぱり名前のことも何か話に上がってたと思うんで、何か

市議会だよりとかなんとかっていうよりも、何か名前があったほうがいいのかっていうふうなことも思いました。

それから、議会報告会ってあんまり面白くないんですね、大体ね。議員は緊張するし、来る人は何か文句言ってやろうと思ってるし、それで、何かうまい具合にいつてところを参考にできないかなっていうので、私、今何かそれを持ち合わせてるわけじゃないんですけど、やってるとこはあると思うんで、苦労しながらね。何かそこはちょっと調べてみたらどうかなって思っています。集まりにくいということがあったり、広報するには早くからやらなきゃいけないとか、自治会をお願いしなきゃいけないとかいう何か縛りもあったみたいなので、そういうこと考えて、ちょっとここも書いたんですけど、あとは、今、皆さんの、ああ、なるほどなど思いながらちょっと思ったんですけど、西野さんの、委員長、ちょっと笑ってしまったんですけど、でも、面白いかなと思ったりしたんですね、ちょっと。

**○西野委員長** ありがとうございます。

**○錦織委員** 特に真ん中の丸はね、ちょっと面白いかなと思ったんですけど。あとね、生徒会を議場でするっていうのも、何かちょっとこれは難しいかなと思ったんですけど、私、これ広報広聴委員会の仕事になるのかどうか分からないんですけど、高校生議会っていうのは結構面白くて、みんな真剣にやるしね。いいなと思って、中学生議会をしたらいいなって思っているんですけど、でも、そのためには結構、先生たちが何か負担になるので、これもまたちょっとあれかなと思って、仕事、働き方改革のこともあると思いながらね、実はすごく何かいい、みんなが真剣に取り組んでもらえたり。それから、県だったらね、もうどこの学校が来るか分からんみたいな感じなんですけど、米子市の議会だったら、身近だからね、ああ、あそこの子はどんなあれしてるのかなとかいって、結構見てもらえるんじゃないかな、見るっていうか。だから、ちょっとこれは、この委員会とはちょっと別だなって思いながら、そういう思いがあります。それから、あと、出前説明会みたいな感じで、岩崎委員でしたか、何か常任委員会ね、団体だとかね、何かそういう、例えば米子市が補助金出してるようなところでも、そこに、これは常任委員会の仕事だと思うんですけど、意見聞くっていうのはすごい、委員会として意見聞くっていうのはすごい勉強になるので、そういうこともできたらいいなと思って、そういうことまで言わないんだろうなと思いながら、書かなかったんですけども、全体的にはそういうふうに思いました。あとは、表紙の写真をみんなで、自分で撮る自信もないんですけども、何か見てみたいなっていう気がします。別にここにいる議員だけじゃなくって、いろんな議員、いろんな人の写真を、何かね、みんながここ、我はと思う人にあれして、ここで選べばいいですよ。ただ、何かちょっとそれも面白いかなって思いました。以上です。

**○西野委員長** 錦織委員、ありがとうございました。

森田委員は特にはないですか。

**○森田委員** 大丈夫です。言っていたいたんで。

**○西野委員長** では、大まかに言うと、報告会、意見交換がまず1つあって、次、あとはQRコードなどで、ちょっと簡潔、簡潔というか、文字を大きくして、ちょっとQRコードなどを使ってまとめる。もう一つは、子どもたち、中学生、高校生、若者向けという意見が大まかに3つですかね、あると思います。その3つの項目で意見を出し合ったらどう



かなと私は思うんですけど、どうでしょうか。

○岩崎委員 いいです。どっかで集約しなきゃいけないから。絶対それは委員長が言われるように。

○西野委員長 では、この3つの項目を、またどこかの日程で、日程というか、また意見、もう今日やってしまいますか。

○伊藤委員 ちょっと絞りながら。

○西野委員長 持ち帰って……。

○岩崎委員 ちょっとまとめちょっといいですか。

○西野委員長 はい。

○岩崎委員 せっかくまだ時間ありますので、ある程度皆さんでいろいろ協議をしながら、今、委員長が3つ、大まかに3つというのは、多分皆さんがうなずける範囲のことを多分集約されたと思うので、実はその3つを協議して行って、ある程度の形にして、方向性だけでも落とし込めれば、今日はいいんじゃないかなと思うんですけど。

○西野委員長 意見ある方って、みんな意見言ってますからね、どうしましょうか。

伊藤委員。

○伊藤委員 私、さっき委員長が言ってくださった3つの中で、一番簡単っていうか、やりやすいのはQRコードかなと思ってます。技術的な問題だけだと思うので、これはもう進めるということで、ここで決めて、あとは技術的な問題で、文言のどこ残すとか、どこを中心にするっていう、そういうようなところを一つ、この議会だよりを出すまでの間に1日つくるみたいなことが必要なかなと思ったりもしますけれども、ここで決まればね。

○西野委員長 12月号に間に合いますかね、QRっていうのは。ちょっと難しい。

○岩崎委員 ちょっとそれは難しい。

○伊藤委員 今回は難しい。

○西野委員長 今後ですね。

○矢田貝委員 すみません。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 今、3本の柱、言ってくださったんですけど、それを今期でどこまでやるかっていうか、議会報告会そのものの議論をするのか、開催はやってしまうのか、であるならば、もう一回でも集まったときにはきちっと報告会のことはメインにしていかないともう間に合いませんよね。そこだけ1点、今日、せめてそこだけはどう思います。あとのことについては、少し技術的なことが整えば、何とかこの期の中に形が見えればいい程度の内容かしらなんて思うんですね。相手さんがあって、交渉ができてというふうなことなので。なので、どうせ3つのうち、少ししゃべりましょうっていうのであれば、議会報告会かなって私は思うんですけど。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 私も、そのとおりだと思います。議会報告会にしても、意見交換にしても、やっぱり日程が必要なので、早いこと話していくのはそれかな、QRコードは技術的な問題なので、先進めても、こっちはじっくりしていかなきゃいけないなと思っているんですけど、私、先ほど意見を言わせていただいて、矢田貝委員も、要綱とか構わずにっていうことはいけないんじゃないのっていうふうにおっしゃってくださったんですけど、私、実

はこの意見を言うときに、前段で議会基本条例の文章をちょっと載せてたと思うんですね。それ何かなくなっちゃったので、私も、そうですよね、議会基本条例の。それを。

**○長谷川議事調査担当係長** いただいた中ですか。

**○伊藤委員** ええ。初めに、議会基本条例の中で、意見を聴取する、しなきゃいけないだとか、議員の活動の中で市民の意見を取り入れるだとか、そういうようなことを前提としてたので、別に要綱がなくても、その中であれば、議員や広報広聴委員会でも、自由にやっていけるのかなと思ったところで、これを多分書いたんです。

**○矢田貝委員** 賛成です。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 伊藤委員も、最初の説明のときからおっしゃってました、各委員会等が動くところを広報広聴のほうでバックアップしていくっていう、そのやり方がいいんじゃないかなと思います。岩崎委員がおっしゃったみたいに、各常任委員会なり、それが特別委員会が当たらないと私は思っているんですけども、常任委員会が普通にスタートに当たって、皆さんから、この期でどうしていきましようみたいな確認をするときに、今期はどの方向に向かって、地元の方々については、意見をお伺いするとか、学習に出かけましようかっていうところをする。それを発信をする。私たち、やっぱり広報広聴っていうところは、どうしても一番下、私の今回の意見のところの3つ目なんですけれども、広報広聴委員会の目的と役割っていうのをもう一回整理していただきたいというのがすごくお願い事項としてあります。伊藤さんや皆さんのおっしゃってる、意見交換ができないということではなくて、広報広聴の委員会としての議会報告会っていう縛りでいくのには限界があるというふうに思っています。委員会でやっていったらいいと思うんですけど。

**○岩崎委員** そのとおりです。

**○西野委員長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 全くそのとおりで、私も同じ思いです。この米子市議会議会報告会とされると、そういうふうに要綱なんかも定まってまして、何かがんじがらめになっちゃってるんですよね。そこから抜け出せれない現状がありまして、一旦ちょっとそこを、来期に向けて、テクニクも含めて、どういうふうにやっていったら今の我々が理想とする形になっていけるかっていうのが今期の大きなテーマだと思ってまして、今から、じゃあ、改めて今までの踏襲の議会報告会やってみましようかっていうことは、正直必要ないと思ってます。もうあんまり時間もないし。だから、来期に向かって、来年の新しい期、6月から新たな期が始まる、に向かって、何かきちんと形を残していきましようよと、これが多分、今流の形なんだろうねっていうことが全員が一致して向かえればいいかなと僕は思っています。その中での一つに、要は各地域ブロック、今、公民館ブロックでいえば4ブロックそれに当て込んでるんですけど、もうそこもやめてしまいます。自治会だよりではなくて、それぞれの常任委員会の主たる、何ていうんですか、調査項目なんかもいろいろあると思います。そういったところに、本当現実な話、いろいろ聞けるようなところに出向いて行って意見交換をしていく。そこから、何か政策決定に結びつけられればいいかなっていうふうには思いますし、それを広報広聴委員会はバックアップをしていくというイメージでいけばいいかなと考えます。以上です。

**○西野委員長** 門脇委員。

○**門脇委員** すみません。局長、すみません。今のこの議論の中で、これ別に要綱を変更しなくてもできる感じなんですかね。

○**松下事務局長** 今、要綱お持ちですかね、広報広聴委員会要綱。お手元にございますでしょうか。

○**伊藤委員** 持ってないです、私は、すみません。

○**松下事務局長** その中で、第2条で、所掌事務というのがあります。委員会の所掌事務は次のとおりとする。1番が米子市議会だよりに関する事、2番が議会のホームページに関する事、3番が議会報告会に関する事、第4号として、前3号に掲げるもののほか、議会の広報及び広聴に関する事という、所掌事務の中でその他という部分があるので、先ほどから話が出ている議会報告会というものに限っていえば、広報広聴委員会の所掌事務にもなってますし、議会報告会は別途開催要綱というのを定めています。ですから、議会報告会っていうことになればこの開催要綱に従って4ブロックに分けてやるのか、そういったやり方がここで全部決められてるので、これに従っていくっていうことになるんですけど、所掌事務の先ほど言いました第4号で、3つのほか、議会の広報及び広聴に関する事っていう項目がありますので、その中で具体的なものを、例えば今は意見交換会みたいな話が出たんですけど、一つの広聴の手段としてそれをやっていきましょう。じゃあ、やるからには一定のルールづくりをするということで、また新たにこれに基づいて開催要綱までは、そういったきちとしたものまでは要らないのかもしれませんが、例えば今、ここで広報広聴委員会で提案があって、ここで最終的に決まるっていうことではないので、ここで提案をしていただいて、例えば会長・幹事長会議で説明をしていただいて、合意が取れたら米子市議会として新たな方法としてそういった広聴の種類、一つの手段をやってみようというような流れになると思います。

○**西野委員長** ほかに。

門脇委員。

○**門脇委員** 先ほどからの方法でやれば、特段要綱の変更とかななくてもできると思いますので、ほかのやり方とか、議会報告会ってなると先ほど局長が言われたように要綱から変更していかないといけなくなりますので、各委員会の市民への報告に対して、我々はサポートしていくようなやり方はできるのではないかと思います。なので、その方向でいくのかどうか、僕自身としてはいいのではないかと考えてますけど、やり方としてはほかのやり方もあると思いますので、その辺を皆さんで協議していただけたらと思います。

○**西野委員長** では、各委員会の報告をバックアップするっていう感じ。

○**岩崎委員** どうも、報告だと何か皆さん頭がおかしくなっちゃうんで。

(発言する者あり)

報告じゃなくて、広聴です、広聴。

(「はいはいはい」と声あり)

広くやっぱり聞き取るっていう意味では、例えばどっかに出向いて、何ていうんですか、ワールドカフェっていいですか。

○**伊藤委員** あ、あの。

○**岩崎委員** 何か。

○**伊藤委員** だから、そのグループワークなり。

○岩崎委員 グループトークみたいなことしたりとか、何かやり方はいろいろあると思うんですけど。

○伊藤委員 ワールドカフェが、はいはい。いろいろあります。

○岩崎委員 要は、そのテーマに基づいて、テーマを皆さんで共有して、来られる人と共有して、そのテーマに基づいていろいろ何かつくり上げていくとかですね、聞きながらこういったところが落としどころですねみたいなので、最終的に集約するのは我々の役目というような感じじゃないでしょうか、イメージ的には。だけん、報告会じゃないですね、名前は。

○西野委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 今までの皆さんののは全面的に共感します。このときのこのメンバーで会長・幹事長会になるのか分かりませんが、ある程度議員の総意として意見を上げるっていうところをまとめていって共有いただけるところが、それが次に変わっていけるっていう、さっきの岩崎委員の話でいくと、報告会っていうのは、そこに労力を割くんだったら、次から以降の各常任委員会が身近な地域の中で動きやすくしていけるような形づくりに向かっていく機、広報広聴委員会っていうことかなというふうに思いました。整理もしていただきました。報告会ってなるとやっぱりそこから飛び出せませんので、その考え方も賛成させていただきますので、委員長、采配お願いします。

○西野委員長 じゃあ、来期に向けて。

(「はい」と声あり)

報告会じゃなくて、意見交換の場を持つ、そういうスタイルで。

(「はい」と声あり)

○松下事務局長 委員長、よろしいですか。ちょっと補足でよろしいですか。

(「9月まで・・・」と声あり)

○矢田貝委員 ということがいいんじゃないかって、私たちは考えているっていうのを上げるっていうイメージ。私たちが決めることも何もできないんだと思うんですけど。広報広聴委員会って。なので、広報広聴委員会の仕事としては、議会だより作成委員会それから、それぞれが動いているところを撮影すれば、それも広報広聴委員会の今の役としてはすっきりするんで、ネーミング的に広報広聴委員会じゃないと私は思う、そこに軸足を変えていけば。やっぱり議会報告会っていうのは残すのか残さないのかっていうところも、やっぱり二巡したところで、やっぱり報告だけっていうところになるとどうしても参加者も構えるし、言いたいことも言えないっていうところもあります。やっぱ言っちゃいけないっていうふうに臨んできました、私なんかは。なので、そこも含めると、やっぱし役割、機能っていうのも整理は必要だと思う。二本立てでこの広報広聴委員会がどうあるべきかっていうところと、市民の方とよりハードル低くしていくために議員の活動の仕方はどうあるのかっていうのを何かまとめて、その中に少しずつ広報の、議会だよりの改革案みたいなんでしょうけど、何月頃をめどにまとめていきませんかという、委員長がそう言っていただくのがいいかなと。

○西野委員長 まずは。

○矢田貝委員 多分、事務局長が言おうとされたんだと思います。

○西野委員長 事務局長。

○**松下事務局長** 矢田貝委員のおっしゃることもそのとおりだなと思います。ただ、この広報広聴委員会、こうやって皆さん集まって、各会派なり委員会から来ていただいて集まっていたくというのは、やはり広報広聴に特化したものを今後どうやっていくかという一つ提案する役割もあると思うんですよ。ですから、今まで決められたことを粛々とやるという方法もありますし、今回みたいにこういう改革をしていこう、もっともっと市民の意見を聞いていこうと。そのために、例えば議会でそういうことをやろうと思うと、誰か選抜して小委員会みたいな形で、じゃあどういった形があるかというのを提案する。でも、米子市議会にはきちっとこういった広報広聴委員会っていうのはもうセットされているので、本当に今日のようなことを、いろんな意見を出し合って、それで委員会としてまとめて、要は提案するっていうか、こういう委員会でこういう話が出て、こういうふうに議会としては持っていきたいんだけどもっていうことで、どこに諮るかっていうのが一つの例として先ほど会長・幹事長会って言ったんですけども、やはり各議員の総意の下で、じゃあこういうやり方をやっていきましょうというやり方なので、矢田貝委員さんが言われるようなことももっともだと思いますけれども、この広報広聴委員会の機能、役割というのは、こうやって本当にどうやったら市民の人にもっと聞いてもらえるかとか、市民の意見を聞いて政策に反映させていくんだという、そこをいろんなアイデアを出し合って提案していただくということが、この委員会の役割じゃないかというふうに思います。

それと、じゃあその広報広聴委員だけで出向いて行って、じゃあ意見を聞くのかっていう。でも、そこはそうじゃないっていうのが矢田貝委員さんおっしゃるとおりで、例えば常任委員会のお話が出て、やはり市民の意見を聞いて政策に反映させるっていうことになると、やはりそれぞれの常任委員会単位で、例えば団体なりは所管の中の団体から直接いろいろな話を聞いて、それを政策に反映させるような形で執行部に提案していきなり質問をしていきなりという、そういう機能を持たせるためには、やはり常任委員会単位でやっていくというようなことが。例えば、その常任委員会間の、何ていいますか、調整とか、ある常任委員会だけやるっていうのもあるかもしれませんが、その辺の連絡調整っていうのはそれぞれの常任委員会から代表が出ていただいていますので、その委員の方が中心となってその横の連絡を取っていくというようなやり方でやっていかれたらどうかなというふうに思います。ちょっとしゃべり過ぎましたけど。

○**岩崎委員** いいと思います。

○**伊藤委員** いいと思います。

○**西野委員長** では、伊藤委員。

○**伊藤委員** 皆さん、大体集約できそうな意見がたくさん出たのかなと思っています。まだまだ意見がありますよっていうのは聞かせていただいたらいいと思うんですけど、これで委員長にちょっとたたき台案というふうなことでまとめていただいて、またそれをちょっと精査していくっていうような形で作り上げていってはいかがでしょうか。

○**西野委員長** では、意見交換とか報告会については、来期に向けて提案をしていくという方向でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**西野委員長** 錦織委員。

○**錦織委員** 来年の6月いっぱいまでが、6月は議会がありますけど、6月いっぱいまで

が任期だ、任期というかこのあれだとすると、できるところがもしあれば、それでも1月、2月ってというのは何か雪が降ったり、議員さんのあれしたりとか出にくい、集まりにくいっていうのがあるかもしれないんで、3月議会だし、4月はちょっとまあ選挙、統一のね、あれもあったりするんで、5月ぐらいとか動けると思うんですよね。それで、何かもう来期に向けてっていうんじゃないか何かえらい先の話だなんていう感じはちょっとそういう感じがするんで、もしか何かできれば、今期のうちに1回ぐらい意見交換ができるような常任委員会のほうに提案して、できなければ仕方がないですけども、そういうのをあんまり来期にっていうことを思わずに、できるところからやればいくなっていうふうに思うし、それでそれを私たちがバックアップしていくっていうね、何かそういう経験つくったほうが、一遍やってみて、あ、やっぱりちょっとこうだったねっていう何か経験もしたいなっていうふうに思うんですけどね。皆さんどうですかね、時間ないですかね。

**○西野委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 多分、こういう議会報告会を最初やるときもだったんですけど、これも初めてなことなので、なかなかなかなか難しいところはいっぱい出てくると思うんですけど、例えばやり方として、今、常任委員会でっていう案が出てますけど、まだ違うやり方もいろいろ議員の中でこの割り振りをどういう具合に割り振りをして、意見交換会に臨むかとか、それから対象も、例えば学生さん、中学生相手ですね、中学生や小学生を相手に教育の問題なんかのことを話し合ってもいいでしょうし、先生も対象になるかもしれません。そういうそれぞれの、例えば常任委員会でやるにしても対象者の人をどんな方を対象にするのかという選定の方法とかもありますし、それ一応我々の提案として考えた上で、さっき局長が言われました会長・幹事長会に諮ってもらったりなんかしないといけませんので、なかなか早々にはできないと思う。錦織委員が言われたように、多分早くできて5月がいいところじゃないかと思ってますし、そこがちょっと難しくなったらちょっと6月以降になってしまうかもしれませんが、大体その辺りを目標にして、必ずもう5月っていうことではなくて、一応目標にしますけど、これがルールに乗ってずっと2回、3回とやっていけばできるかもしれませんが、そういうところで拙速にはなかなかできないなというふうなところが正直に思ってるんですけど。それぞれいろいろ意見出してもらって、ごめんなさいね、…（聞き取れず）…決めていけばいいんじゃないかと思ってます。すみません。

**○西野委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 来期に向かってっていうところありきじゃないでしょっていうことだと思うので、私はできればいいと思うし、常任委員会の中で身近なところで聞きにいこうよっていうことが盛り上がっていったとなれば、それはできることかもしれないなっていうふうに思うので。報告会って今までのすごいイメージがあるので、副議長がおっしゃったのすごい分かるんですけど。だけん、区切らんでもいいよねっていう、行けるところから。

**○門脇委員** そうですね。

**○矢田貝委員** ということだと思います。

あと、森田さんの声が聞けてないので、私は聞きたいなと思います。何かありませんか。

**○西野委員長** 森田委員。

**○森田委員** でも、できるところからっていうので、スケジュール感とかも一緒にたたき

つくってもらおうときにどういうスケジュール感で進めていきますみたいなことも一緒にあったら、それでいけそうかいけなそうかっていう判断もできると思うので、その辺りも一緒にいただければなと思いました。

○西野委員長 そういうことで、来期という縛りじゃなくて、できれば5月ぐらいを目標に一度各委員会に諮ってもらって、5月ぐらい1回できればという一応方向性でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○門脇委員 ちょっと待って。

○西野委員長 門脇委員。

○門脇委員 すみません。大枠決まったら一応会長・幹事長会に、常任委員会でなしに会長・幹事長会でかけてもらって諮らないといけませんよね。

○松下事務局長 そのほうがいいのかもかもしれません。

○門脇委員 そうですね。そこから、そこでオーケーが出たら常任委員会なりに向かっていくっていう格好で。

○西野委員長 議会だよりとかはどうされます。伊藤委員。

○伊藤委員 えっと、議会だよりの文字が見づらいたとか、このレイアウトが、例えばここはこんなに別に大きくなくても、ここのちっちゃい文字をもうちょっと大きくできるんじゃないのとか、何かそういう技術的なことを、レイアウトをね。多分何か、何年前の広報広聴委員会で1日つくっていただけませんかかって、業者さんのレイアウトについてつくってもらえませんかかって言ったら、いいですよって何か皆さんでそうしましよっていう話になったと思うんですけど、何か進んでいないようなので。それはぜひやっていただきたいな。やっぱり市民の視点で、こんなに余白ここ要らないんじゃないのとか、それが技術的にできるかどうかっていうことも含めて、ちょっと協議の場をつくりたいと思ってるんですけど。

○西野委員長 局長。

○松下事務局長 承知しました。ちょっと業者さんとも調整して、また委員の皆様との日程調整も含めて、意見交換とかは考えさせてください。予定したいと思いますんで。

○伊藤委員 ありがとうございます。

○西野委員長 岩崎委員。

○岩崎委員 あと、せっかくですから吉岡委員からも出ましたし、その見本を見させてもらって本当すごいな、やっぱり見やすいなって本当に思いました。すごく見やすいと思います。

○西野委員長 カラーだったらもっと見やすいですよ。

○門脇委員 ちょっと字はちっちゃい。

○錦織委員 字はちっちゃいですね。

○岩崎委員 開いてみようかなと思うような、要は構成です。

それと、あと縦書き横書きあのおき言われましたけど、まさにそのとおりだなと思ってます。だから、その辺の配分というのはできるはずなんで。

〔「年代」と声あり〕

○門脇委員 年代、年代です。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 私も、縦書き横書きのことは随分前に議会事務局と話したことがあるんですけど。

(「ですよね・・・」と声あり)

こっち側とじになると、こっち側とじでないとうなるらしいんですよ。横になるとこっち側向きになるらしくって。

○門脇委員 ああ、なるほどね。

○伊藤委員 だけど、今までずっととじてた人がいるって、こっちとじじゃないと。だから、そういうようなことも今後変えていいのか悪いのか分からないんですけど、やっぱりより見やすいついていうところを目的としてやっていけばいいかなとは思ってます。

○吉岡委員 でも逆になるんですよね。ほかのものはこうとじれるのに。

(「そうです、そうです」と声あり)

○西野委員長 議会だよりについては、やっぱり業者含めて1日ちょっと話をしないと。

○岩崎委員 そうしましょう。

○西野委員長 ですね。

○岩崎委員 そうしましょう、そうしましょう。ええですよ、それで時間つくってもらって。

○門脇委員 とじるときに、逆さにしてとじるんです。

(「そうだね」と声あり)

○西野委員長 議会だよりを、例えば変更するとして、じゃあ、いつの議会だよりからという目標とかは立てなくてよろしいでしょうか。

○岩崎委員 いや、立てたほうがいいと思いますよ。

○西野委員長 はい。

○岩崎委員 だから、もうしっかりと12月までに業者交えて話をする。何回も、我々もすり合わせをする。できれば12月議会報が3月に発刊されるので、それに目がけて。当然、会長・幹事長会の了解をいただきながら、こういうふうに変更していこうと思いますがお願いしますということで、承認いただいてスタートできればいいんじゃないでしょうか。できるはずですよ。

○西野委員長 じゃあ、議会だよりの変更、改革は12月議会の3月。

(「3月号で」と声あり)

3月号を目標にやっていきたいと思います。

ほかに御意見ございますか。

○岩崎委員 表紙はいいですか。それで、今後の表紙の何か方向性っていうのは。

○伊藤委員 写真取るようにしてます。

○西野委員長 門脇委員。

○門脇委員 だんだん、事務局さんにもちょっと言いたいところがありまして。何か最初、募集かけるときは何でも一緒ですけど、これから市議会だよりが写真募集して、市民の皆さんの写真が載るって結構盛り上がったのに、やっぱりどんどんマンネリ化っていうか、どうしてもこういうものは、今応募がゼロだったようで、そうなってくるんですよ。ですから、ちょっと募集の仕方考えないといけない時期に来てるのかもしれない。



- 錦織委員 景品。
- 門脇委員 景品。
- 錦織委員 採用者にはとか言って。
- 岩崎委員 各5万円掛ける26人。
- 伊藤委員 私、意見交換会をしたりとかすると、それをトップページに載せるっていうようなこともできるので。
- 岩崎委員 そうそうそうそう、そうなんですよ。
- 伊藤委員 なので、やっぱり動きと連動していくっていうのがいいので、1回のきっかけにはこのイラスト募集はなったんです、写真、イラスト募集は。だけど、ちょっとこのいつの期からっていうのは分かんないけれども、少し変えてみたらどうかになって。

（「方向性をね」と声あり）

それも委員長たたき台をちょっと一緒につくって、スケジュール感も合わせて会長・幹事長にかけていきたい、いただきたいと思います。

- 門脇委員 やっぱりさっき言われたように、人が。
- 西野委員長 門脇委員。
- 門脇委員 人が静止じゃなくて、この動いとるようなのがあると、やっぱりちょっとあつ、いいなと思って目につきます。
- 岩崎委員 です、ですね。
- 門脇委員 感じがします。
- 西野委員長 錦織委員。
- 錦織委員 人だけじゃなくて、犬が走ってるところとか。

（「犬・・・」と声あり）

日だまりで寝てるとことかでも、そういうのでも案外好きな人いるからね、動物。

- 岩崎委員 ペットは結構最終手段ですよ、ペットは。
- 錦織委員 ドッグランで。
- 岩崎委員 ドッグランで。
- 西野委員長 なので表紙に関しては、写真にこだわらず。
- 伊藤委員 こだわらず。
- 西野委員長 動きのある写真など。
- 門脇委員 そうですよ。だから、そうだな……。今度なかったら写真館つくらないけんかも。

- 西野委員長 まあ、その辺も、表紙に関してもちょっと改革を。
- 岩崎委員 きっかけを見てね、例えば参考までに言います。参考までに、今、都市経済のほうで、執行部とちょっとやり取りをしてるんですけど、南北自由通路がよいよ橋桁が架かって、これ1回視察させてもらえんかと、常任委員会のほうで皆さんにまた再度語りながら、最終的に決まりましたら視察をしていきますが、タイミング的には多分11月とかそんな感じになると思いますが、そういったときに必ず全議員にもお伝えしますんで、一緒にやりませんかということになっていきますが、主催は常任委員会ですっていうことで情報はすぐ広報広聴委員会に入れると、その視察の風景とかが可能、例えば橋桁が架かるところの写真とかぼんと載せることができるようになるんですよ。参考までに一応そ

ういうことを考えておりますんで、また動き的にまた申し上げたいと思いますんで、よろしくお願ひします。以上です。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 じゃあ、ちょっと確認ですけど。以前はそういう写真でも、後ろから写さなきゃいけないとか、議員の顔を載せないようにとか、この人が大きくてこの人が小さいと駄目だとかいろいろあったんですけど、それはもうないですよ。議会事務局に確認ですけど。

○岩崎委員 最悪、目を隠す。

○錦織委員 でも、体の大きさに分かるっていうのもある。

○西野委員長 僕はすぐ分かりますよ。

(発言する者あり)

○松下事務局長 こういったものを載せるのは、例えば一般市民の方でしたら、やはり許可が要りますので、肖像権の関係があるので。ですから、後ろとか、そういったのが多かったと思います。議員さんに関していえば、通常は特にはないですけども、選挙が近づいてくると。

○岩崎委員 そうそうそうそう。

○松下事務局長 こういった広報誌に議員の写真が載ったりっていうのは規制がありますので、ちょっとそこら辺は気をつけておかなきゃいけないと思うんですけども、一般市民の方っていうのは、例えば議員さん勝手に撮って勝手に載せるということは、これは非常に問題がありますので、そこら辺りやっぱり肖像権の問題があるので、そこはちょっと注意が必要なのかなというふうに思います。

○西野委員長 伊藤委員。

○伊藤委員 許可があって、確認したというようなことだとオーケーっていうことですか。

(「オーケーですね」と声あり)

○松下事務局長 これは問題ないと思います。

○伊藤委員 分かりました。ありがとうございます。

○西野委員長 では、表紙については特に。

○岩崎委員 出かけて行って撮るのもあるよっていうことですよ。

○西野委員長 じゃあ、市議会だよりについては3月号を目標に改革を進めていきますので、よろしくお願ひします。

○岩崎委員 はい。

○伊藤委員 お願いします。

○西野委員長 あと、中学生、高校生に向けてちょっと意見が多いので、ここもちょっと取りまとめをしたいんですけど。どういった感じの若者を引き込む感じがよろしいでしょうか。

○岩崎委員 県議会ではやられましたよね、たしか高校生議会の。

○錦織委員 毎年ね、やって。

○岩崎委員 ですよ。

○錦織委員 8月のね。

○岩崎委員 岡田さんの娘さんが出たてって言っとなつた。

○**錦織委員** そうそうそう。

○**岩崎委員** シャベったってって。

○**錦織委員** それで、何か高校生とか、何か高専もいいんだよね。

○**伊藤委員** そうですね。

○**錦織委員** 出られて、そうすると、その担当議員っていうのを一応、相談する議員、こんなふうにして質問するんだよみたいな感じでね。何か、だけど別に共産党の議員だからこうだっていうあれじゃなくって、一般的なことでそれぞれ担当になるので、そんなに何か右寄り左寄りとかっていうことではなく、安心して向かえると思います。ただ遠いので、鳥取まで子どもたちを米子の方がする場合、担当する場合もあるので、一応メールしたりとか何かしながらとか。それから、大体先生がやっぱり相談に乗ってあげられるんで、それ当日も先生も来られるし、ちょっと先生がもしかしたら大変かなと思って。議員はそんなに大変じゃないんですよ。

○**岩崎委員** その中で、高校生の意見っていうのは、結構斬新な意見とかもありましたか。

○**錦織委員** やっぱり、てんであまりにも理想的なものもあるけど、自分たちの疑問だとか、そういうのを直接ぶつけたりできるので、そのときは大体知事もおられたと思います。だけん、やっぱり直接そういうのに答えてくれると、だけど、どれほど実現したんだろうかなっちゃうのはちょっとと思います、分かりませんが、そういうのはすごい本人にもいい経験になるし、議員は聞いてくれるだけになるんでね、あとは。

○**岩崎委員** ちょっと、局長に聞いてみます。要は、中学生議会でも高校生議会でも、どこが主催するかなんですけど、これが議運なのか広報広聴委員会なのかなんですけど、広報広聴委員会で、要は広聴機能を持たせるためっていう理由はつくのはつく。

○**松下事務局長** つくと思います。

○**岩崎委員** ですよ。

○**松下事務局長** それこそ、その相談に乗る議員さんっていうのは、広報広聴委員さんっていうのが適任じゃないかなというふうに思います。

○**岩崎委員** なるほど。じゃあ、やれるんじゃないですか。

○**伊藤委員** できるんじゃない。

○**西野委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** 私、高専の先生、高専は何度か広報広聴委員会で。

○**岩崎委員** ありました、ありました。

○**伊藤委員** 行ったことあるので、そこはもう何かルートとしてあるのかなと一つ思いますし。あと、米子高校なんかは米×米プロジェクトで米子市の中心市街地辺りのいろいろ提案をしているので、そういうところはぜひやりたいわっておっしゃるんじゃないかなと思ったり。あと、小・中学校のことで議会報に載せるっていうようなことで、私、教育委員会にちょっと御相談したことが以前ありますけれども、何かここは載せて、ここは載せないっていうようなことがとても何か難しいみたいなことはおっしゃってたんですけど、でも小学校だったらたくさんあるのであれなんですよ、中学校だったら11中学校だとすると10年かかる、10年もかからないか、4回ですからね。そういうようなことで、できるんじゃないかなと思ったりもします。だから、実現可能なところからちょっとやって、若い方々の声を集めるっていうようなことはぜひしたらいいかなと。

(発言する者あり)

高専なんかは簡単、簡単だってそんなこと言っちゃいけませんけど。

○岩崎委員 どうぞ。

○矢田貝委員 中学校が文化ホールかどっかでやりましたよね。

○伊藤委員 はいはい。

○岩崎委員 ありましたね。

○矢田貝委員 あれだったら、もう一発で。

○伊藤委員 本当ですね。

○矢田貝委員 集まるわけですね。それで、会場って、本会議場ってどうなんですかね、そういった場に提供できるってことは。

○松下事務局長 これは、市民の財産ですので、議会の持ち物ではありませんので、可能だと思います。

○矢田貝委員 使っていただいて。

○岩崎委員 ですよ。

○矢田貝委員 その中学校がやったあれでいくと、運営するメンバーがいるので、その人たちと一緒に私たちがその会を応援するみたいなことで、何回やったかも、2回までは私追いつく。

○伊藤委員 もうちょっとやってますよ。

○矢田貝委員 やってるんですね。それが、こちらと何かタイアップして学生を通して言っぱじゃなくて、私たちがそこに学びに行くみたいなどころからいくと実現するかもしれません。

○岩崎委員 ううん、いいですね。

○伊藤委員 いいですね。

○矢田貝委員 ね。

○西野委員長 中学校を対象にしますか、高校を対象にしますか。

○伊藤委員 矢田貝委員の意見とってもよかったです。

○矢田貝委員 今やっ取るだけですね。

○伊藤委員 はい。今、もう。

○矢田貝委員 中学校ですけどね。

○西野委員長 中学校。

○伊藤委員 中学校のよりよい学校づくり、楽しい学校づくりでしたっけ。何か。

○矢田貝委員 安心、何だったっけ。何かそんな。

○西野委員長 中学校でやる際に、その中学校単位でやるのか、いろんな中学校の生徒…

…。

○矢田貝委員 全部ですね。

○西野委員長 全部の生徒が。

○矢田貝委員 はい。

○岩崎委員 全部。

○矢田貝委員 中心になる中学校が持ち回ってるんじゃないかと思います。

○西野委員長 それはもちろん、どっかの学校が入ったりってことはないようにしてって

いうか。

- 矢田貝委員 全部です。
- 西野委員長 全部、11校。
- 矢田貝委員 はい。執行部プラスアルファぐらいな考えでやってると思うんですけど。
- 西野委員長 それ、年に何回ぐらい。
- 矢田貝委員 執行部。
- 伊藤委員 毎月。
- 西野委員長 毎月。
- 矢田貝委員 毎年。
- 西野委員長 毎年か。

(「毎月・・・」と声あり)

- 岩崎委員 何か簡単な要綱みたいなものがありますよね、多分ね。
- 矢田貝委員 はい。
- 岩崎委員 ちょっと見せてください。
- 矢田貝委員 行けばあると思います。はい。じゃあ、それを
- 岩崎委員 ぜひ。
- 矢田貝委員 今度の写真のときに。
- 岩崎委員 ですね、ぜひ見せてください。
- 矢田貝委員 はい。
- 門脇委員 そりゃあ、文化ホールで、議場で議長席座るとかね。
- 西野委員長 確かに。
- 門脇委員 感動すると思いますよ。
- 岩崎委員 そうそうそうそう。
- 門脇委員 いろんな意見出るとは思いますけど、そこは、あそこんところはやっぱり。
- 岩崎委員 ですね。
- 西野委員長 では、中学校議会、中学生議会を開催するという方向で。
- 門脇委員 もう開催するってことに。

(発言する者あり)

- 門脇委員 可能性を探りに。

(発言する者あり)

- 西野委員長 皆様のそういうだけの情熱があれば、できます。
- 岩崎委員 サポートしますよ、僕らはね。
- 西野委員長 できます。ということで、大まかな3点について意見を出し合っていたいただきましたが、ほかに補足や御意見があれば。

事務局長。

- 松下事務局長 議会報告会のことです。例年、毎年4月、5月あたりに議会報告会っていうのを開催してるんですけども、令和3年、令和2年はコロナの影響があって中止ということになってます。例年であれば、もうこの時期からするのকাশないのかという、特に2年度、3年度はコロナの影響があったので、本当に開催するのকাশないのかっていうのをこの委員会で御協議いただいて、最終的に2年は中止、3年は中止したけどユーチュー

ブ配信したということがございますので、今日ここでというわけではないです。また持ち帰っていただいて、今回の議会報告会をどうするかというところを、一応要綱では年に1回開催するという事になってますので、基本的には1回は開催しなければいけないんですけども、開催するっていうことになれば、それこそ連合自治会の方々にお願いしたりとか。

(発言する者あり)

そういった事前の準備、自治会回覧ですとか事前の準備も要りますので、そこら辺りはちょっと早急に御協議いただきたいというふうに思ってます。

○門脇委員 選挙の年はどうかっていうのは決まって、なかったでしたっけ。

○松下事務局長 決まってなかったと思います。

○門脇委員 決まってなかったですか。

○矢田貝委員 私、今の段階でやらなくなったんだと思ってたんです。

○岩崎委員 やらなきゃいけないっていうのは、しぶい。

○矢田貝委員 やらなきゃいけないんですね。

○松下事務局長 今期はまだやる、やらないっていうのは決まってないです。

○岩崎委員 ですよ。

○松下事務局長 まだ決まってないです。

○岩崎委員 まあ、選挙があった年だからね。

○松下事務局長 そこら辺りの。

○錦織委員 終わった年だからやらなきゃいけないっていうのか。

○岩崎委員 やり方をもういきなり変えていくか。それとも、いや、その準備に特化しますと。

○門脇委員 おかしい、ちょっと。

○錦織委員 それはこっち1年間を考えるかだけです。

○岩崎委員 いや、そのことなんですよ。それをただ皆さん共通的な考えだと、ちょっともうその4ブロックで今までどおりの踏襲した報告会はもうしなくてもいいじゃないっていうのは、皆さん多分思っておられるんじゃないですか。

○錦織委員 何となくそういう雰囲気だね。

○岩崎委員 そんな雰囲気だと感じ取ってますけど。

○錦織委員 何かちょっと変えた形でね、やろうというのは。

○岩崎委員 いろいろ模索をする1年でもいいんですよっていうのを。

○伊藤委員 そのことを伝えたらいいんじゃないですかね。議会報告会ではなく、意見。

○門脇委員 交換会。

○伊藤委員 意見交換会というような形を今考えていますみたいな。

○岩崎委員 各常任委員会がちょっと。

○伊藤委員 あんまり何か詳しく言わなくていい。

○岩崎委員 そうそうそうそう。各常任委員会に1回、ちょっと今年そういうのを検討してみてもらえませんかという投げかけみたいな感じでいいんじゃないんですか。

○矢田貝委員 というそこを得た上でホームページ上の議会報告会のところで、令和4年度はそうになりましたってアップしてしまわないといけないです。

○岩崎委員 まあ、そういうことですよ。もしかしたら、楽しみにしとんなる人が1人ぐらいおんなるかもしれませんし。

○矢田貝委員 でも、そこで議長、副議長がこういうことで。

○岩崎委員 そうそうそうそう。

○矢田貝委員 今回は開催はしませんけど、次は。

○岩崎委員 それは大事なことです。

○矢田貝委員 いったみたいなことを出てしゃべるってことはできるかもしれません。

○西野委員長 では、議会報告会についてはそういう方向で。

○岩崎委員 いいですよ。

○西野委員長 門脇委員。

○門脇委員 そういう方向でいくんだったら、やっぱりちょっと開催の要綱っていうのは決まっていますので、皆さんで協議しながらここ、どういうふうにしていくかっていうのを決めないと。今年は特別だから、特別にこうだから来年こうします、じゃあ、その次はどうなのかっていうと、でもこれ要綱が生きてますので。結局、そののところから皆さんで協議していかないと。

○松下事務局長 よろしいですか。

○門脇委員 はいはい。

○松下事務局長 例えば、ここで決まりました。あと、会長・幹事長会議で決まりましたって言っても、例えば市民の方が、何で今年は、今回やらないんだって言われたときに、果たしてきちっと説明ができるかっていう、があります。2年、3年っていうのは、コロナで、コロナのせいにしちゃいけませんけども、なかなか一堂に集まるっていうのが非常にリスクが高いと。議員も全員がそれぞれのブロックに出ていき、市民の方もその、例えば公民館なら公民館に来ていただく、非常にリスクが高いという判断の下、開催を見送ったという経過があります。今回、2年、3年でコロナの影響はあったんだけど、今回はまずこのコロナの影響をどうするかということで、それも一つの検討課題。先ほど新たな提案が出て、いや、今ほかのことを考えてるからこれをしないよという、そういう説明で果たして市民の方、例えば楽しみにしとられる方もおられるかもしれませんし、要綱で決まっている。そこをどうクリアするかっていうのは、ちょっと私も検討させていただきたいです。そこら辺りも勘案しながら御協議いただけたらなと思います。

○錦織委員 だから毎年やるとして、ほんならやるとしたら4月、5月なんですか。

○松下事務局長 そうですね。

○伊藤委員 11月っていうのも、結構2回ほどあったかな。

○松下事務局長 11月にもあった。

○伊藤委員 ええ。

○松下事務局長 11月にもありましたか。

○森井議事調査担当局長補佐 最初そうじゃないですかね。

(発言する者あり)

○門脇委員 最初だったかな。

○伊藤委員 うん、最初の頃、11月。

○松下事務局長 だったですかね。

○吉岡委員 事務局長、その議会報告会開催要綱に、議会基本条例に基づきって書いてあるんです。これ、議会基本条例に開催しないとイケないって書いてあるんですか。

(発言する者あり)

ここには何が書いてあるんです。第5条の第2項に何が書いてあるんですか。

○伊藤委員 報告とか、意見聴取。

○松下事務局長 ちょっと読み上げていいですか。議会基本条例の第5条の2、議会報告会。議会は、市政の諸課題に対処するため、市民と市政に関する情報及び意見を交換する場として議会報告会を開催するものとする。議会報告会の開催に関し、必要な事項は議長が定める。この議長が定めるっていうのが、この要綱です。この細かい開催の年2回とか、4ブロックに分けてやるっていうのが、これが要綱で定められているということです。

○矢田貝委員 要綱もあるんですか。

○吉岡委員 印刷できます。

○矢田貝委員 そっちに書いてある。

○松下事務局長 要綱は、米子市議会議会報告会開催要綱という平成29年6月19日に制定されてます。この基になってるのが吉岡委員おっしゃいますように、基本条例で定めがあるので、細かい開催の詳細についてはこの要綱をつくってやり方を決めていく、決めてこれに従ってやっているということです。

○西野委員長 門協委員。

○門協委員 局長、すみません。選挙の後、どうのこうのってさっきからずっと言って、何かちょっとずつ書いてないかなと思ったら、開催要綱の一番最後に、選挙があった後のこと書いてありますよね。ここは別途協議を行うものとするっていうことが書いてありますよね。

(「うん」と声あり)

○松下事務局長 初めて……。

(発言する者あり)

○岩崎委員 今もうまさにそれなんですよ、今期は。協議に入ってるけど。

(発言する者あり)

○吉岡委員 解釈が、こっちは1年に1回って書いてある。こっちは回数を決めないって書いて。ゼロでもいい。

○錦織委員 回数ゼロっていうのもある。

○伊藤委員 でもね、そのとおりなんですよ。

○門協委員 そうなんですよ。

○伊藤委員 改選後、改選後で、ここはタイトになってしまったりとかするので、できないようなときもありだねって言って、でも。

○門協委員 だから、このさっき言ったら選挙後でいよいよいわゆる場ってなかなかそこに1年間の間にするのが難しかったら、そこのちょっと1年後に、過ぎてからでもっていう意味合いでこれがしてあったんじゃないかな。

○錦織委員 多分ね、そうだよ。

(発言する者あり)

3回しとったが1回で、最低1回はという言い方しますんで。



○**松下事務局長** ちょっとすみません、この附則どういったことを想定してってことまで詳細は承知しませんが、読む中では、副議長が言われるふうにも読める。

○**門脇委員** 読めます。

○**岩崎委員** 読めますよね。

○**矢田貝委員** そういう話で入ってたような。

○**門脇委員** 気がするんですよ。

○**矢田貝委員** じゃなかったんですけど、そんな記憶がありますね。

○**錦織委員** 回数って書いてあるけど、開催についてはだよな、本当は。

○**吉岡委員** そうですね。

○**錦織委員** 日数が書いてあるけんね。ちょっと悩むだわな。

○**吉岡委員** 回数だと2回にするか、3回にするか、なしかなど思っているんで。

○**門脇委員** ゼロもあり。

○**吉岡委員** ゼロもある。

○**錦織委員** 普通はゼロもあるということだと思う。

(発言する者あり)

○**矢田貝委員** 委員長、いいですか。

○**西野委員長** 矢田貝委員。

○**矢田貝委員** 委員長、ここでじゃあこういうことって、私たち、うんてうなずいてますけどね、決まったことが全ての議会の決定事項じゃないっていうふうに思っていて、ここに副議長いらっしゃいますけど、やっぱりこれが終わった後に議長、副議長と何らかの報告なりがあって、じゃあこれからどうしていきましようかっていうところに副委員長も一緒にやり取りしていただいて、ちょっと今日のことを整理していただければいいんじゃないかと、私、今日こんなに何かやっぱり円テーブルの威力だと思うんですけど、たくさん皆さんが御意見出された中で、何かいい方向にいきそうな気がしているので、1回閉じた後の議長、副議長とのやり取りで一度局長とも整理していただければいいかなと。

○**西野委員長** そうですね。報告会や意見交換などについては、ちょっと簡単にはいきそうもないんで、ちょっと整理して後日また報告をしたいと思います。

○**岩崎委員** はい、結構です。

○**西野委員長** 議会だよりについては、業者を含めて協議するというので。あとは、中学校の、中学生の議会を開催するというので。そういうことで今日の広報広聴委員会は終了でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○**岩崎委員** ごめんなさい。その他で1点だけ。

前回お願いしてたのが、今回資料を頼みますと。鳥取のワールドカフェとか、そういった状況をちょっと教えてくださいねって言ってたんだけど、どうでしょうか。

○**長谷川議事調査担当係長** ちょっと資料をつけてないんですけども、問合せはさせていただきました。令和元年に鳥取市議会が議会報告会、意見交換会として、高校生を対象としたトークカフェ形式を開催されてました。その後について確認しましたら、高校生たちはこの1年だけだったと。次の年は鳥取大学の地域学部生を対象に開催。同じようにカフェ形式でやられたと。令和3年度は学生ではなくて、子育て世代を中心に開催されたと。

今までの学生を対象にしてたってところも、学生だった子が子育て世代を中心にといいところでも参加をしてたということです。なので、鳥大生だとか、保育関係者といった形、あとは子育て世代のお母さん方が参加されたということでした。

○岩崎委員 それはあれですか。それで、要は概要を資料として、また次回でいいですから、教えてください。お願いします。

○長谷川議事調査担当係長 ちなみに、令和4年度はコロナにより開催中止となっております。

○岩崎委員 中止ね。

○長谷川議事調査担当係長 今後は、何か参加者を絞らずに、もう鳥取市在住者とか通勤者を対象にして、もうテーマを決めてサブテーマごとに班をつくって、またトークカフェ形式で行ってということです。

○岩崎委員 トークカフェは何なんですか。

○長谷川議事調査担当係長 すみません。ちょっと、今さっきワールドカフェとちょっと混在しましたが同じです。ワールドカフェ形式。

○岩崎委員 何なんですか、それは。

○門脇委員 岩崎さん、同じこと何回もしとるん、本当に。また後で。

○錦織委員 ちょっと日本語は入れてほしいね。

○門脇委員 日本語。

○錦織委員 漢字で分かるように。

○岩崎委員 PTAがいつだったかやっと思ったようなもんでしょ。

○伊藤委員 そうです、そうです。

○岩崎委員 ね、テーブルに分かれて。

○門脇委員 そうそうそうそう。高専行ったときもやった。

○岩崎委員 高専のときもやってたね、それですよ、ワールドカフェ。

○門脇委員 ワールドカフェ。

○伊藤委員 じゃあ、そうしましょう。

○西野委員長 事務局長、以上でよろしいでしょうか。

○松下事務局長 ちょっと先ほどの副議長からの御質問の開催要綱の附則の部分ですが、この要綱の施行の日以後初めて行われる一般選挙による議員の任期の初日以後の報告会の1年当たりの開催回数については、同日以降に別途協議を行うものとする。この要綱が平成29年6月12日施行です。ということは、その以後、初めて行われる一般選挙っていうのは平成30年に行われているので、その初日以後、要は平成30年7月1日以後の報告会の1年当たりの、については同日以降に別途協議を行うものとする。何かそれに限定するのか、これは今も適用になるのか。ちょっとここら辺は少し。

(発言する者あり)

この附則がどういった目的でなったかっていうところも含めて、ちょっと調べさせていたいただきたいと思います。

(「はい」と声あり)

○西野委員長 以上でよろしいでしょうか。

[「はい」と声あり]

○西野委員長 お疲れさまでした。

**午後 2 時 5 5 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長      西 野 太 一